

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～つながる 挑む 考動する～



河内小だより



三次市立河内小学校 令和6年10月号

第31回子ども音楽交流会に出場しました！

29日（火）に三次市民ホールきりりで「第31回子ども音楽交流会」が行われ、河内小学校の全校児童15人が出場しました。昨年度結成された「河内子どもバンド」の演奏を取り入れ、「翼をください」の合唱、「茶色のこびん」の合奏を発表しました。木村恵太郎さんに発表用に曲をアレンジしていただき、毎週火曜日に指導に来ていただきました。

三次市民ホールきりりの大きなホールのステージに立つのはほとんどの子どもが初めてでしたが、緊張することなく、一人一人が自分の役割をしっかりと果たし、15人全員がキラキラ輝く発表となりました。他校の児童や先生からも驚きと感動の声や拍手をいただきました。



11月3日（日）の「河内ふれ愛祭り」では、プログラム2番の「河内小学校学習発表」で「ペガサス」「翼をください」「茶色のこびん」の3曲を披露します。

プログラム10番では「よさこいソーラン」を披露します。また、プログラム5番「運動講座：いきいき体操」では3・4年生が「総合的な学習の時間」の学習の中で体操の先生である井原先生、小文の垣添さんと一緒に考えた体操を一緒にします。13番の「ちゃぐりんキッズ」では、今年も米づくり体験をした5・6年生の発表の後、実際にできたお米を会場の皆さんに配る予定です。お楽しみに！

社会見学に行きました！～江波山気象館・平和記念資料館～

10月10日（木）に全校で社会見学に行きました。見学先は、「江波山気象館」と「平和記念資料館」でした。「江波山気象館」ではサイエンスショーを見たり、「突風カプセル」や「台風ボックス」などの体験コーナーで楽しんだりしました。

午後からは「平和記念資料館」に行きました。昨年のサミットをきっかけに諸外国から広島への訪問客が増えたようで、平和記念資料館の見学者も多く、ゆっくりと見て回ることが難しいコーナーもありましたが、1945年8月6日に広島に落とされた原子爆弾がどれだけおそろしく悲惨なものだったのか、展示してある写真や焼け焦げた展示物を見て子ども達は感じ取ったようです。本年度の平和学習の中で取り組んで作った千羽鶴を供えた「原爆の子の像」にも行きました。

平和公園を出発し、帰りは安佐南区の大町まで「アストラムライン」で帰りました。本通駅で各自が切符を買って、自動改札口を通してホームまで行きました。本通駅から城北駅までは地下を走り、新白島駅からは地上に出て道路の上を走ります。ほとんどの子ども達が初めての体験だったので、何もかもがドキドキわくわくの体験でした。



アストラムライン乗車体験！
切符の買い方を6年生が下級生に教えてくれました！
車窓から見る広島市の景色に興味津々でした！



原爆慰霊碑の前、
みんなで手を合わせ
てお参りしました。



【 中国新聞に掲載 文化ひろば「こども俳句」 みんなの広場 】

・とうさんと とんぼをとったよ たのしいよ

(1年 平岡 直樹) 10月10日版